



【戦評シート】

平成 23 年 8 月 9 日 (火)	協会名 :	秋田県 バスケットボール協会							
場 所 : ニツ井総合体育館 (Dコート)	記入者 :	小林英紀							
チームA 弘大附属 (青森 2 位)	48	<table border="0" style="text-align: center;"> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: 4em;">}</td> <td>7-20</td> </tr> <tr> <td>4-16</td> </tr> <tr> <td>16-14</td> </tr> <tr> <td>21-16</td> </tr> </table>	}	7-20	4-16	16-14	21-16	66	チームB 城南 (秋田 1 位)
}	7-20								
	4-16								
	16-14								
	21-16								

スターター	チームA :	#4, #6, #7, #9, #10
	チームB :	#4, #5, #6, #7, #8
ディフェンス (試合開始時)	チームA :	<input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB :	<input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

お互いにハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。

第 1 ピリオド, 開始早々城南 #6 板井が 3P シュートを決めて先制する。その後は, お互いにシュートを決めることができない。4 分を過ぎた頃, 城南は高さを生かしリバウンドから #12 浅利が速攻を続けて決めると, オフェンスのリズムを掴めない弘大附はたまたま前半 1 回目のタイムアウトを請求する。その後も, 城南の高さに苦しむ弘大附は 6 分を過ぎた頃ようやく #7 一戸の 3P が決まる。城南は速攻や #7 金のインサイドプレーで一気に引き離し, 20-7 と城南がリードし第 1 ピリオドを終了する。

第 2 ピリオド, 城南 #6 板井が速攻を決めて先制する。対する弘大附は #7 一戸が速攻を決める。城南の高さに苦しむ弘大附は, 思うように攻めることができず後半 2 回目のタイムアウトを請求する。その後弘大附は, リバウンドにも飛び込み果敢にシュートに向かうが決めることができない。城南は, 高さを生かしたディフェンスからの速攻とインサイドプレーを中心に得点を重ねる。城南が 36-11 と大きくリードを広げ第 2 ピリオドを終了する。

第 3 ピリオド, 弘大附は前からプレッシャーをかけ相手のミスを誘うも, 落ち着いてボールを運び逆に城南が得点を重ねる。さらに, トランジションを上げた城南はさらにリードを広げる。なんとか追い上げたい弘大附は, オールコートゾーンプレスでさらにプレッシャーを強くして巻き返しを図ると, #10 福田のジャンプシュートや #9 田代の連続 3P シュートでオフェンスのリズムをつかみ流れをつかむ。50-27 と城南がリードし第 3 ピリオドを終了する。

第 4 ピリオド, 開始から弘大附は, 激しいプレッシャーで城南のミスを誘い得点を決める。対する城南は, 速攻から #6 板井, #8 嵯峨がシュートを決め必死に踏みとどまる。弘大附は, 積極的にダブルチームやスティールを狙い, #4 竹浪, #10 福田を中心に得点につなげ追い上げにかかる。さらに, 速い展開でシュートまでつなげるが, 城南も要所で #6 板井, #7 金がシュートを決め簡単には詰めさせない。弘大附は最後まで必死にボールを追うが, 前半の点数を詰めることができず試合終了。66-48 で城南が勝利を収め, 明日の準決勝へと駒を進める。

注意 : 文面には試合内容のみご記入下さい。